

令和3年12月20日

岩沼市議会議長 飯塚悦男 殿

会派名 自由民主党・政策フォーラム

代表者名 佐藤淳一

調査研究等報告書

実施期日	令和3年11月30日（火）～令和3年12月1日（水）
参加者氏名	自由民主党・政策フォーラム 佐藤淳一、櫻井隆、高橋光孝、飯塚悦男、佐藤一郎、沼田健一
調査地等及び調査事項等	(1) 調査地・研修場所（島根県雲南市） 日時 令和3年11月30日 午後2時30分～4時30分 調査・研修内容 1. 雲南の未来をひらく特別なチャレンジについて 2. 令和3年7月豪雨被害について（現地調査）
	(2) 調査地・研修場所（ ） 日時 年 月 日 午前・午後 時 分～ 時 分 調査・研修内容
	(3) 調査地・研修場所（ ） 日時 年 月 日 午前・午後 時 分～ 時 分 調査・研修内容

※ 別途報告書を作成の上、添付してください。

※ 報告書には、報告者氏名、調査・研修目的、調査・研修内容及び効果・成果等を記載の上、その他調査・研修内容が分かる資料（視察時資料、研修資料等）を添付してください。

I	調査地	島根県 雲南市
	調査月日	令和3年11月30日(火)
	調査事件	ソーシャルチャレンジバレーへの挑戦(持続可能なまちづくり)
概要	<p>[雲南市の概要]</p> <p>雲南市の面積は東京23区とほぼ同じ550km²で、人口は約3万7000人(2020年1月時点)。2010年を100としたときの人口減少指数は66%、高齢化率は36.8%で「日本の25年先に行く高齢化社会」と言われている中、人口の社会増への様々なチャレンジに取り組んでいる</p> <p>(1) 島根県雲南市は、市民主導で様々な社会課題の解決に取り組んできた先進自治体として知られる。地方創生のリーディングプロジェクトとして位置付けている「雲南ソーシャルチャレンジバレー」構想が行われ、「子ども×若者×大人×企業チャレンジの連鎖」を旗印に、市民や企業の主体的なチャレンジを支援していくプログラムを推進している。</p> <p>(2) 地域の課題に住民が主体となって取り組む文化をつくるため、「子ども×若者×大人」のチャレンジを応援してきた雲南市。2019年度からはここに企業と地域が連携し社会課題を解決するビジネスモデルの構築に挑む「企業チャレンジ」が加わった。</p> <p>(3) 看護人材がまちに常駐し日常的に住民と関わる「コミュニティナース」や、外出が困難な要支援者の介護予防と社会参加を図る「ショッピングリハビリ」など、住民の発案・実行による地域の課題解決事例も次々と生まれてきたが、2019年4月には雲南市チャレンジ推進条例が施行され、新たに企業が地域課題の解決を進める「企業チャレンジ」の仕組みを整え、首都圏の大企業が参加をして、モビリティなどいくつかの分野で成果も出始めている。行政、住民、そして市内外の企業や団体による「チャレンジの連鎖」を目指している。</p> <p>(4) 【チャレンジ1】未来をつくる意志と力を育む「子どもチャレンジ」 幼児期から高校までの発達段階に応じた雲南市独自のキャリア形成プログラムをもとに、学校・家庭・地域・行政が連携・協働して、質の高い教育へ挑戦し新しい時代に対応した「公教育モデル」を構築し、“スペシャルチャレンジ”を起こす気概のある18歳を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [基本事業①] テクノロジーの活用や地域協働によるチャレンジプログラムを確立し、誰もがチャレンジできる教育環境を創出。 • [基本事業②] 個別最適化された学びや自分らしくチャレンジできる教育環境(未来の学校)を構築。 <p>【チャレンジ2】地域と自分の未来を切り拓く「若者チャレンジ」 志ある大学生や若者、市内事業者のイノベーションを創発し、地域に必要な新事業を創出し、約60名の新規雇用、約3億円の経済波及効果、約200名のローカルチャレンジャーを輩出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [基本事業①] 多分野、多世代のチャレンジャーがそれぞれの領域を超 	

えてつながり、学び合う場をつくる。

- 【基本事業②】 起業や新事業開発を支える伴走支援体制を構築すると共に、必要な人材や資金調達を支援する仕組みの充実・強化を図る。
- 【雲南コミュニティキャンパス】 雲南市全体を学びのフィールドワークやインターンシップを通じて、地域課題解決に向けたチャレンジ。
 - a・地域からの課題に対して自分の力を試したいという大学生向けのコミュニティチャレンジコース
 - b・自分のチャレンジの実践できるフィールドを探している大学生向けのチャレンジコース
 - c・地域、社会のために自分のチャレンジを行う大学生向けのスペシャルチャレンジコース

【チャレンジ3】 自分たちが地域を経営する「大人チャレンジ」
地域を担う多様な人材を育成・確保する仕組みを構築するとともに、地域の持続可能性を高める多世代・多分野の“ソーシャルチャレンジ”を創出する。

- [基本事業①] 地域経営カレッジや各地域独自の取組を通じて、次の担い手が地域づくりに関わるきっかけをつくります。
- [基本事業②] 地域円卓会議等を通じて地域課題を共有・議論し、多様な関係者の協働による事業創出や既存事業の見直しを行います。
- [基本事業③] 地域自主組織をはじめとする多様な関係者が分野を超え、役割を担い合う体制構築と活動拠点の整備を行います。

【チャレンジ4】 地域と共に社会課題に挑む「企業チャレンジ」
地域と市内外の企業による連携協働を進め、社会課題を解決する新事業を創出します。

- [基本事業①] 企業等が市内の地域活動や課題への理解を深める機会の提供や、地域と共に社会課題を解決する実証事業を支援します。
- [基本事業②] 企業チャレンジの持続可能な仕組みを整えると共に地域全体で社会課題解決を推進する体制を構築します。

*雲南市との協定締結企業

- ・(株)竹中工務店 ・(株)ヤマハ発動機 ・NPO 法人 ETIC
- ・(株)ヒトカラメディア ・雲南市商工会 ・(株)LIFULL FaM
- ・三刀屋地区まちづくり協議会など



委員の
まとめ

雲南市の取り組みは、まちへの関わりを町単位地域ごとの取組み以外にも、いろいろな入り口から入ることが出来る間口の広さと、子ども、若者、大人の世代ごとの取組みを作ったこと、さらに企業も巻き込んで人口減少へあらゆるあがきをみせている点が特筆されるポイントではないかと考える。急激な人口減がすでに始まっている自治体の取り組みとして参考にすべきところは多く、持続可能なまちづくりをすすめる上で連鎖的な取組みが大きな効果を生むという点において大変参考となった。